



昭和音楽大学
公共ホール共同事業実施報告書①

公演名称	昭和音楽大学提携プロデュース 「サクソ四重奏によるミニコンサート at 河口湖駅・富士山駅」
日時・期間	2011年7月2日(土) 11:00-11:45 河口湖駅 14:00-14:45 富士山駅
場所	富士急行 河口湖駅(山梨県南都留郡富士河口湖町船津 3641) 富士山駅(山梨県富士吉田市上吉田 2-5-1)
参加学生	演奏: ハバネロサクソ(神保佳祐、細川慎二、牧野遼介、奥野祐樹) 企画・制作: 石田芙弓、加藤未沙貴、中條辰啓
主催	富士山河口湖音楽祭 2011 実行委員会
共催	昭和音楽大学
公演の概要	公共ホールとの共同事業として実施した河口湖円形ホールでのコンサートのプレイベントの一つ。演奏を行ったハバネロサクソ(サクソフォン四重奏)は学部3年生の男子学生4名で構成されており、活発な活動をしているグループである。 それぞれの駅で観光客や地元住民を対象にした45分のプログラムを披露。幅広い年齢層の聴衆が足を止め、普段あまり聴く事の無いサクソフォン四重奏の音色に聴き入る様子が見られた。
公演までの流れ	3月に教職員が現地視察を行った際、富士山河口湖音楽祭の方から演奏会のプレ企画として「河口湖駅」「河口湖美術館」での演奏会開催の提案があった。これを受けて駅・美術館でのプレ企画の実施企画案を固め、5月27日(金)に学生と共に現地での打ち合わせを実施。その際、富士急行の方から、7月1日に改称される「富士山駅」での駅舎新装記念演奏についても提案があり、「河口湖駅」「富士山駅」両駅での演奏を行うこととなった。
来場者数	河口湖駅 約50名 / 富士山駅 約100名
報告・成果	河口湖駅で行った初回の公演では、慣れない場所での演奏に緊張が見られ、MCもやや堅さが残るものであったが、バスを待つ観光客など50名以上の方々が演奏者を取り囲むようにして演奏を聴いて下さった。午後の富士山駅での公演は2回目ということもあり、普段の調子を取り戻して、澁刺とした演奏で聴衆を魅了していた。観客に旅行客や地元の親子連れを想定して、アニメ主題曲や童謡、往年のヒット曲など親しみやすい選曲のプログラムにしたことが功を奏し、アンコールでは自然と手拍子が起こるなど、子供から大人までが楽しんでいる様子が見てとれた。 駅の方からのお申し出で急遽演奏回数が増えるなど、演奏者はもちろん、同行した制作スタッフも臨機応変さが求められるシーンが多かったが、富士河口湖町や富士吉田市の地元の方々に温かく見守られて大変貴重な経験を積むことが出来たのではないだろうか。



昭和音楽大学
公共ホール共同事業実施報告書②

公演名称	昭和音楽大学提携プロデュース 「木管アンサンブルによるアフタヌーンコンサート at 河口湖美術館」
日時・期間	2011年7月2日(土) 14:00-14:45
場所	河口湖美術館(山梨県南都留郡富士河口湖町河口 3170)
参加学生	演奏: リリエ木管アンサンブル (Fl.森田久美子、Ob.上遠野瑞季、Cl.飯塚健太、 Fg.鈴木優人、Hn.古越恵美、Pf.宮野佑実子) 企画・制作: 石田芙弓、加藤未沙貴、中條辰啓
主催	富士山河口湖音楽祭 2011 実行委員会
共催	昭和音楽大学
公演の概要	公共ホールとの共同事業として実施した河口湖円形ホールでのコンサートのプレイベントの一つ。河口湖美術館内に常設されているグランドピアノを使用し、ピアノソロおよび木管楽器の様々な編成によるアンサンブルを披露した。司会はアートマネジメントコースの学生が担当し、曲目解説を交えながら、若さ溢れる雰囲気のコングサートとなった。
公演までの流れ	3月に教職員が現地視察を行った際、富士山河口湖音楽祭の方から演奏会のプレ企画として「河口湖駅」「河口湖美術館」での演奏会開催の提案があった。これを受けて駅・美術館でのプレ企画の実施企画案を固め、5月27日(金)に学生と共に現地での打ち合わせを実施。同美術館の副館長をはじめ、現地ボランティアスタッフの協力を得て、公演の実施に至った。
来場者数	約90名
報告・成果	<p>事前申し込みのない公演であったため、当日まで来場者数の予測ができなかったが、最終的にはほぼ満席となった。美術館スタッフの方々のサポートや、アートマネジメントの学生が呼び込み活動をした成果であろう。演奏スペースは、ガラス越しの河口湖の背景に、落ち着いた雰囲気を創り出すことができた。曲目は、ドビュッシーのピアノ小品、ライネッケ「ホルンとオーボエ、ピアノのためのトリオ」、ベートーベンのピアノ三重奏曲など、やや地味なものであったが、来場者は木管楽器の響きをゆったりと楽しんでいた。今回のような場所では、1、2曲は誰でも知っている曲を取り入れると、さらに聴衆の反応も良くなったであろう。</p> <p>美術館という特殊な演奏場所であったが、事前に入念に打ち合わせを重ねたので、出演者の動線や舞台転換の流れがスムーズであった。美術館職員ならびに音楽祭のボランティアの方々の協力のもと、当日の運営を行い、文字通り大学との共同事業とすることができたといえる。</p>



昭和音楽大学
公共ホール共同事業実施報告書③

公演名称	河口湖円形ホール室内楽シリーズ特別企画 昭和音楽大学提携プロデュース 「木管五重奏、ピアノ、サクソ四重奏によるアンサンブルの魅力」
日時・期間	2011年7月3日(日) 16:00-18:00
場所	河口湖円形ホール(山梨県南都留郡富士河口湖町河口 3030)
参加学生	演奏: リリエ木管アンサンブル(Fl.森田久美子、Ob.上遠野瑞季、Cl.飯塚健太、 Fg.鈴木優人、Hn.古越恵美、Pf.宮野佑実子)、ハバネロサクソ(神保佳祐、細川 慎二、牧野遼介、奥野祐樹) 企画・制作: 石田芙弓、加藤未沙貴、中條辰啓
主催	富士山河口湖音楽祭 2011 実行委員会
共催	昭和音楽大学
公演の概要	富士山河口湖音楽祭 2011 プレイベントの一つとして実施。木管五重奏にピアノ を加えた木管アンサンブルと、サクソフォン四重奏の2団体が出演し、クラシック の楽曲を中心としたレパートリーの演奏を行った。
公演までの流れ	富士山河口湖音楽祭 2011 実行委員会担当者とミーティングを行い(2011年1 月)、本年8月に行われる音楽祭のプレ企画として、昭和音楽大学共催の演奏会を 行う旨、双方合意。3月中に器楽学科の部会にて出演する学生の推薦・選定が行わ れ、4月からアートマネジメントコースの有志学生を中心に本格的に企画・制作が 始動。5/27(金)には企画・制作に携わる学生3名と共に現地視察を行い、各会場 (ホール、美術館、駅)の担当者と具体的な内容を詰めるミーティングを行った。
来場者数	45名(座席数50席中)
報告・成果	演奏会のプログラムはあえて全体の統一テーマを設けず、木管アンサンブルとサ クソ四重奏それぞれの個性が活きる選曲を行った。来場客のアンケートには「木 管六重奏やサクソフォン四重奏など普段聴く機会の少ない編成の演奏を楽しむこ とが出来た」という旨の感想が一番多く、とりわけ、木管アンサンブルが披露した プーランク「六重奏曲」と、ハバネロサクソが自分たちで編曲したモーツァルト 「トルコ行進曲」が好評を博した。 公演実施に係る業務は、現地スタッフや音楽祭のボランティアの協力のもと、ア ートマネジメントコースの学生が中心となって執り行われた。正課の合間を縫う過 密なスケジュールではあったが、公演制作やコミュニケーションに関する学生たち のスキルは確実に向上したのではないだろうか。また、音楽祭特有のスケジューリ ングなどは、学生のみならず、我々も得るところが大きかった。 前日に行われた本公演のプレ企画(駅、美術館での演奏会)をご覧下さった方の 来場もあり、企画相互の連関においても成果があったと思われる。



7/2 (土)「サクソ四重奏によるミニコンサート at 河口湖駅・富士山駅」
演奏：ハバネロサクソ



7/2 (土)「木管アンサンブルによるアフタヌーンコンサート at 河口湖美術館」
演奏：リリエ木管アンサンブル



7/3 (日)「木管五重奏、ピアノ、サクソ四重奏によるアンサンブルの魅力」
演奏：リリエ木管アンサンブル/ハバネロサクソ